



松野まさひろ 市議会レポート

2016年11月15日 第46号 発行：松野まさひろ後援会 〒438-0025 磐田市新貝2500 Tel.0538-37-4561 発行者：久保順裕

一隅を照らす

国宝とは何物ぞ

宝とは道心なり

道心ある人を名付けて国宝と爲す

故に故人のいわく

経寸十枚是れ国宝にあらず

一隅を照らす

此れすなわち国宝なり

*道心：仏に帰依する心、道徳心

*経寸：お金や物を表す言葉

この文章は比叡山を開いた天台宗の宗祖、最澄が遺した「山家学生式」という書物の一節です。

経寸という金銀財宝が国の宝ではなく、一人ひとりが今いる場所で精一杯がんばることが国の宝である。という意味だそうです。

…一隅を照らす…

ヨシ！これからも頑張ろう、という気持ちが始めてきます。

*大山義弘著「利他のすすめ」より引用

磐田市議会議員

松野正比呂

まっちゃんの七転び八起き

…日常活動のあれこれを紹介します…

…秋は運動会の季節…

富士見町運動会(10/23)で輪投げに挑戦。



輪投げ競技のようす

富士見小学校(10/15)元天神町(10/9)見付地区(10/23)の運動会にもお招いただきました。



元天神町運動会の一幕

…全国市議会議長会研修フォーラムを聴講…(10/19)

静岡市で行われた議員研修フォーラムに参加。テーマは「二元代表制と議会の監視機能について」

市民の代弁者である議員の役割と責任を再認識しました。



…静岡産業大学の公開講座…(10/8.15)

今秋のテーマは突破力！統計学から見る静岡の経済力やNPO活動を通じた地域力の現状分析について勉強しました。



…磐田市議会の「議会報告会」… 10/29 開催



本年は「市の財政と公共施設管理」「子ども子育て支援」「中小・小規模企業の振興」の3つのテーマ毎に市内3箇所で開催。

多くの意見・要望が寄せられました。市議会だより(いわた羅針盤)、HPで報告されます。

…バリアフリー社会を目指して！…

10月23日、iプラザで「いわたふれあい広場」が開催。模擬店や歌や楽器のステージなどたくさんの催しに、障がい者も健常者も楽しく1日を過ごしました。



…ろうきん秋祭り…(11/5)

労働金庫磐田支店の恒例行事。ヤマハ発社員による演奏を皮切りに賑やかに開催されました。



皆さまのご意見お待ちしております！…市民の力で元気な磐田のまちづくりを進めましょう…

後援会事務所 〒438-0025 磐田市新貝2500 Tel. 事務所：0538-37-4561 自宅：0538-24-8189

E-mail matsuno-genki@nifty.com

ホームページは(ブログもご覧下さい) … ⇒

松野正比呂

検索

“先進地の視察あれこれ”

見て・聞いて・考え・行動したい！

中小企業の経営環境が年々厳しくなる中、地域の産業活性化に繋げようと、会派「新磐田」の仲間と産業振興の先進事例を視察してきました。

【研究都市「つくば」】

…中小企業集団“MOTs”…

つくば市は国立環境研究所・宇宙航空研究機構など多くの研究所が立地する「研究都市」。

MOTs（つくばものづくりオーケストラ）は、これらの研究機関内で展示会を開催、中小企業の営業活動や技術力の向上を支援するもので2016/4現在で35社が加盟。地元産業の振興に寄与している。



【米沢市の中小企業振興政策】



上杉神社境内にある鷹山の座像

改革の人「上杉鷹山」で有名な米沢市、その精神は現在にも受け継がれ、産官学の連携による起業支援や中小企業振興事業に力を入れている。

…地域産業支援センター

：商工会議所による地域産業支援事業…

＜産業支援事業＞

交流会やワークショップ・セミナーなどを開催し、新たなビジネスチャンスの創出を支援。



地域産業支援センター

＜技術者養成スクール＞

県・市・中核企業・大学との連携により、地域の中小企業を対象に技術研修を実施。

＜インキュベイト(起業支援)事業＞

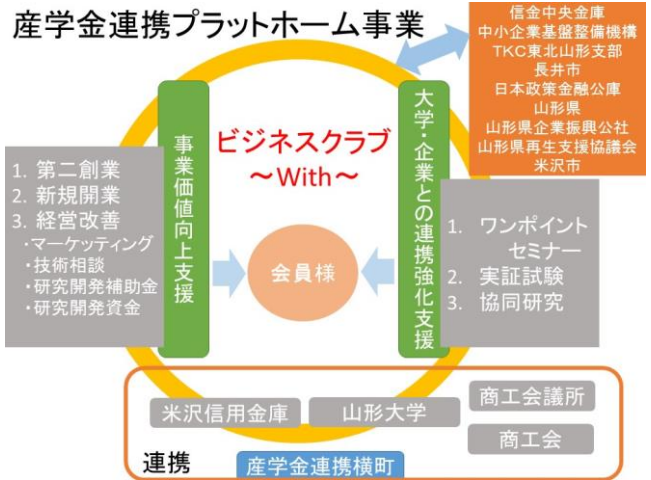


スモールオフィスを見学

ソフトウェア開発などの起業支援を実施。地域産業支援センターにスモールオフィス：14室、レンタルルーム：12室を用意、SOHOワーカーや起業初期の研究室・ソフト開発室などのニーズに対応している。

…山形大学認定産学金連携による企業支援…

金融機関の職員をコーディネーターとして養成、中小企業の実態把握と動機付け・指導を行う制度。米沢信用金庫と山形大学の連携により発足。（下図は会員形式「ビジネスクラブ」の支援体制）



【豊橋市における断水時の水対策事業】

豊橋市では昭和52年に発足した「地下水保全対策協議会」で井戸の保全を進めてきた経緯があり、以下のユニークな水対策に繋がっている。

…防災井戸：災害時に市民誰もが利用可能…



防災井戸の一例

実際に使用している法人・個人の井戸を水質検査後、防災井戸として指定、市民に周知している。なお用途は飲料水以外（198件の登録）

…飲料水兼用耐震性貯水槽…

水道管を通じて水を貯める貯水槽。災害等で水道管が破裂した場合には遮断弁が作動し貯水槽内に水を確保する仕組み。なお、最低でも5万人に3日間、3リットルを確保出来るよう、貯水槽は市内26箇所（総容量198万ℓ）に設置。

【こども未来館“ココニコ”】



集いプラザで遊ぶ子ども達

豊橋市が子どもを中心に市民交流の場として設置。市が直接運営する子育てプラザと指定管理が運営する集いプラザ・体験発見プラザで構成され、子どもの遊具やイベントは、すべてが手作りで暖かみのある施設となっている。